

第35回現代絵本作家原画展

# 戸川幸一郎

とがわ こういちろう

## おもいコロコロつながって



戸川幸一郎『シュモーおじさん』より 2016年（シュモーに学ぶ会制作）個人蔵

野山や海に囲まれた自然豊かな江田島の地で絵本・絵画・版画・陶芸など様々な手法を用いて、創作活動続ける絵本造形作家・戸川幸一郎(1976-)。これまで、作家が人間らしさを最もあらわしていると語る“こども”の表現をテーマに制作を続けてきました。

広島芸術専門学校に在学中、絵本の持つ自由な世界に触発され卒業制作では銅版画による絵本作品を発表します。その後、背中に家を乗せためずらしい動物「イドウシキ」をきっかけに、ふしぎな世界が広がる『はじまりの部屋』(2005年)や、戦後広島で、戦災により住まいを失った人のために家を建てた米国人活動家フロイド・シュモー(1895-2001)を紹介する『シュモーおじさん』(2016年)などの絵本を手掛ける一方で、2020年からは遊びと暮らしが学びになる「とごましゃ<sup>ごましゃ</sup>」を運営しています。

本展では、初期の卒業制作から『シュモーおじさん』までの絵本原画を中心に、フロイド・シュモーに関連する資料を交えて紹介するほか、来場者と作家でつくりあげる参加型展示を行います。戸川幸一郎というひとりの人間を軸に、多様な表現方法や作品から派生してあらゆる方向へとつながり生まれる、自由で柔らかな遊び心あふれる世界観をお楽しみください。

東広島市立美術館（広報担当：桑原 学芸担当：大山）

〒739-0015 広島県東広島市西条栄町9番1号

TEL :082-430-7117 FAX :082-430-7118

E-MAIL:2636026@izumi-techno.jp WEB:https://hhmoa.jp/

東広島市立美術館  
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

## ■ 開催概要

展覧会名 | 第35回現代絵本作家原画展 戸川幸一郎 おもいコロコロつながって  
会 期 | 2022年7月30日(土)～9月25日(日)  
時 間 | 9:00～17:00(入館は閉館30分前まで/ただし、8月26日(金)、9月23日(金・祝)は19:00まで開館)  
※7月30日(土)は10:00開館  
会 場 | 東広島市立美術館3階展示室  
主 催 | 東広島市立美術館  
後 援 | 中国新聞社、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、  
(株)広島リビング新聞社、プレスネット、KAMON ケーブル、FM 東広島 89.7MHz、尾道エフエム放送  
観 覧 料 | 一般800円、大学生500円、高校生以下無料

## ■ 展示構成

### 第1章「移動式的絵本箱」

広島芸術専門学校で銅版画を専攻した戸川幸一郎。在学中に絵本と出会い、絵本の持つ自由な世界観に惹かれた戸川は卒業制作で銅版画によるはじめての絵本作品を発表。2002年同校研究科修了時の卒業制作では動物型の木製箱に6冊の絵本を収納した《版画劇場 移動式的絵本箱》を制作します。この作品では、現在の戸川作品に通じる“こども”のイメージが誕生し、その後さまざまな表現へつながっていくきっかけとなりました。



《版画劇場 移動式的絵本箱》2002年 個人蔵

### 第2章「はじまりの部屋」

《版画劇場 移動式的絵本箱》から派生し、2005年に木彫による《イドウシキ》が制作されました。この作品をきっかけに物語が生まれ、絵本として自费出版したのが『はじまりの部屋』です。ある日ヘンテコな家に遭遇したバジッコは、背中に家を乗せためずらしい動物イドウシキと出会います。イドウシキに乗ろうと尻尾をつかむとイドウシキの背中で広がる世界の中へ…常に変化しながら進む絵本の物語とともに、過去の作品から始まり、彫刻から絵画、そして絵本へと、様々な表現方法を用いながら次々と展開していく戸川ワールドをお楽しみください。



《イドウシキ》2005年 個人蔵



『はじまりの部屋』より 2005年 個人蔵

東広島市立美術館（広報担当：桑原 学芸担当：大山）

〒739-0015 広島県東広島市西条栄町9番1号

TEL :082-430-7117 FAX :082-430-7118

E-MAIL:2636026@izumi-techno.jp WEB:https://hhmoa.jp/



東広島市立美術館  
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

### 第3章「シュモーおじさん」

広島・長崎の原爆投下の被害を知り、心を痛めた米国人フロイド・シュモー(1895-2001)。1948年に初来日し、広島を訪れたシュモーは戦災により住まいを失った人々のために家を建てることを決意します。12年間で広島に21戸、長崎に8戸の住宅が建てられました。2016年シュモーをはじめ活動に関わった人々の深い愛と平和への思いを親しみやすく伝えるために絵本『シュモーおじさん』は制作されました。本章では原画のほか、シュモー関連資料を交えながらご紹介します。透明感ある柔らかく温かな色彩で描かれた原画からは、シュモーや当時の人々の未来への希望や思いを感じることができるでしょう。



『シュモーおじさん』より 2016年 個人蔵

### 第4章「雲であること」

専門学校入学以前の絵画からはじまり、版画、彫刻、陶芸と様々な表現で創作活動を続けてきた戸川幸一郎。2008年にそれまでの作品に自作の詩を添えた『雲であること ことばとえとかたち集』を出版します。戸川が生み出す作品はいずれもひとつの作品のなかで物語性を感じることができ、それぞれの作品の世界はどこかでつながっているようです。本章では作品とともにつむがれたことばをあわせて展示します。



左：《雲を運ぶ日》2008年  
右：《ゆめゆめとべ》2004年 個人蔵

### 第5章「人と遊びと暮らしと学び（仮）」

2020年から戸川幸一郎はこども大人を問わず遊びと暮らしが学びになる「と独楽舎<sup>こましょ</sup>」の運営を開始しました。近くの野山でとれた自然の素材を使った遊びの体験などを行うことで、様々な人々や自然と関りながら教育的活動を展開しています。人との関りが作品になると語る戸川。自己と人々が互いに影響しあうことによって自由で生き活きとした表現が生まれています。本章では初公開となる新作を交えながら、戸川の創作の一端を体験できるよう、来場者が一筆描いた絵画の上に戸川がペインティングを行う公開制作×参加型展示を行います。



過去の公開制作の様子

## ■同時開催 コレクション展 第II期 描かれたこども／平和への想い

絵画や版画、陶芸、写真まで多彩な当館コレクションを“こども”と“平和”というテーマで展示します。未来を担うエネルギーに満ちた存在である“こども”をモチーフにした野田哲也の作品や、被爆体験を創作の原点とする入野忠芳など広島ゆかりの作家による作品を通じて、平和な未来について想いを巡らせる機会とします。



野田哲也《日記 1976年2月15日》1976年 東広島市立美術館蔵

会 期 | 2022年7月27日(水)～10月7日(金)  
会 場 | 東広島市立美術館 2階展示室  
主 催 | 東広島市立美術館  
観 覧 料 | 一般 300円、大学生 200円、高校生以下無料

## ■ 関連イベント ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、内容を変更する場合がございます。

### 1 アーティストトーク & サイン会

戸川幸一郎さんの制作活動の歩みを中心にお話しいただき、終了後にサイン会を行います。※サインは戸川幸一郎さんの絵本・作品集（持参可）にのみ行います。

日 時 | 7月31日（日）14:00-15:30

会 場 | 当館1階アートスペース

定 員 | 40名（参加無料、事前申込制）※お申込は1組4名まで

締 切 | 7月18日（月・必着）

### 2 講演会「フロイド・シュモーと仲間たち」

絵本『シュモーおじさん』に関連して、フロイド・シュモーとその仲間たちが広島で行った平和活動についてお話しいただきます。終盤には戸川さんも加わり、絵本制作にまつわる話をお聞かせします。

日 時 | 8月7日（日）14:00-15:30

講 師 | 西村宏子（「シュモーに学ぶ会」代表）、戸川幸一郎（出品作家）

会 場 | 当館1階アートスペース

定 員 | 40名（事前申込制・参加無料）※お申込は1組4名まで

締 切 | 7月29日（金・必着）

### 3 公開制作 × 参加型展示「トコさんとながろう！リレーペインティング」

7月30日から9月18日までの期間、展示室内に設置されたキャンバスに、来館者の皆様に画材を使って自由に一筆お描きいただけます。下記日時の2回にわたって、その上から戸川さんがペインティングを行い、作品を完成させる参加型展示企画です。

公開制作日時 | 8月21日（日）、9月18日（日）9:00-17:00

会 場 | 展示室会場内（要観覧券・自由参加）

### 4 エリザベト音楽大学 ミュージアムコンサート「あそび to アート みんなで作品つくっちゃおう！」

エリザベト音楽大学と戸川さんのコラボ企画です。同学生らによる絵本『シュモーおじさん』の読み聞かせと本イベントのために制作した楽曲の演奏、そして即興演奏に合わせて戸川さんによるライブペインティングを行います。

日 時 | 9月19日（月・祝）※時間は下記プログラムをご覧ください

プログラム | ※途中休憩時間あり・出入り自由

①「音楽とおはなし」 [1回目] 11:00- / [2回目] 14:00-

絵本『シュモーおじさん』より朗読と演奏

朗読＝藤田真帆（同大学演奏学科3年）・村田菜（同大学演奏学科1年）、作曲＝ヘンリー・ブランスドーファー（同大学院音楽研究科1年）

②「大人が本気であそんでみた」 12:30-13:30

ライブペインティング × 即興演奏

絵＝戸川幸一郎（出品作家）、演奏＝川上統（同大学専任講師）

主 催 | エリザベト音楽大学、東広島市立美術館

会 場 | 当館1階アートスペース

定 員 | 40名（当日先着・参加無料）

[企画・制作＝藤原愛（同大学演奏学科4年）]

## ■ 作家

### 戸川幸一郎（とがわ こういちろう）

1976年呉市生まれ。1995年後藤美術研究所で本格的に絵画を始める。1997年渡仏し制作活動を行う。帰国後、1999年広島芸術専門学校に入学し銅版画を専攻。在学中、絵本の自由な世界観に触発され、卒業制作で絵本作品を発表した。以降、広島県内を中心に作品を発表。2005年『はじまりの部屋』を自費出版。2008年『雲であること ことばとえとかたち集』を発行し、gallery G（広島市）で個展を開く。2016年『シュモーおじさん』（シュモーに学ぶ会発行）を手掛ける。2020年から遊びと暮らしが学びになる「と独楽舎」を開設。現在江田島市に拠点を構え活動する絵本造形作家である。



東広島市立美術館 広報用画像申込書

■FAX 082-430-7118 ■E-mail 2636026@izumi-techno.jp (東広島市立美術館 指定管理者 (株)イズミテクノ)

申し込みフォーム			
貴媒体名			
貴社名/部署			
ご担当者名		E-mail	
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL	FAX	
放送日	年 月 日	掲載号発売日	年 月 日
放送/掲載内容			
画像データの必要期限	年 月 日まで		

※上欄にご記入いただいた個人情報は、広報用画像貸出の目的のみに使用し、それ以外の用途には使用いたしません。

広報用画像一覧掲載ご希望の画像 (□にチェックをいれてください)			
① <input type="checkbox"/>		④ <input type="checkbox"/>	
② <input type="checkbox"/>		⑤ <input type="checkbox"/>	
③ <input type="checkbox"/>		⑥ <input type="checkbox"/>	
		コレクション展第Ⅱ期	
		⑧ <input type="checkbox"/>	
		コレクション展第Ⅱ期	
		⑨ <input type="checkbox"/>	

- ①②戸川幸一郎『シュモーおじさん』より 2016年(シュモーに学ぶ会制作)個人蔵  
 ③戸川幸一郎《イドウシキ》2005年 個人蔵 ④戸川幸一郎『はじまりの部屋』より 2005年 個人蔵  
 ⑤戸川幸一郎《雲を運ぶ日》2008年 個人蔵 ⑥戸川幸一郎《ゆめゆめとべ》2004年 個人蔵  
 ⑦過去の公開制作の様子 ⑧入野忠芳《流形 94-1》1994年 東広島市立美術館蔵  
 ⑨野田哲也《日記 1976年2月15日》1976年 東広島市立美術館蔵

東広島市立美術館 (広報担当：桑原 学芸担当：大山)

〒739-0015 広島県東広島市西条栄町9番1号

TEL :082-430-7117 FAX :082-430-7118

E-MAIL: 2636026@izumi-techno.jp WEB:https://hhmoa.jp/